

花鳥風月・俳句

ボール蹴り掴む優勝冬ぬくし

越智和人

おろかなる心の悪に紙風船

田中良子

山桜包みて隠す霞かな

夜桜の酔い冷めてきて寒き肌

高橋学

薫風や細胞若き白寿かな

春らんまん高知訛りや全国区

自己紹介マスク外した新社員

徳永誠一

梅雨空に我が先だよと草伸びる

虹色に輝き染まるしやぼん玉

紫陽花や色は移り気七変化

小野弘幸

名刹や桜満開天をつく

芝桜石垣せまし萌えいづる

塗塀良子

咲き満ちて行き帰り愛す大躑躅

新緑の山に我が家の埋まりそう

三浦シズ子

恋猫の一声闇に響きけり

計画を立てしに崩れ春炬達

徒長枝切りしのみなる剪定師

三浦 シズ子

花宴平安の宮おひきずり

無心なる幼き我が娘れんげ地に

石井 トシ子

早春の微風にゆれるなでしこや

風薫る子供の下駄の可愛さよ

篠原 高代

祥古刹端應寺庭梅香る

春の日や掌に書く字がダンスす

鈴木 伊都美

マスクとり顔みつめあう卒業生

曾我部 福石

むく銀杏若葉しげり天をつく

新入児ランドセル買って先頭を

加藤

イサ子

大地よりタケノコぐんぐんエネルギー

春がゆく驚くばかり駆け足で

落合

敦